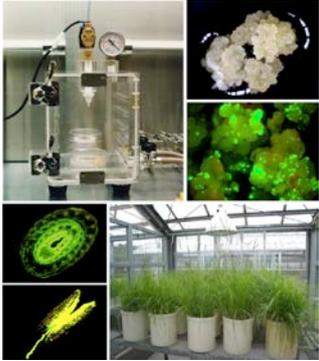


整理番号	HT27280	分野	農学	(キーワード: 遺伝子組換え)
------	---------	----	----	-----------------

宮崎大学

植物の遺伝子組換え技術について学ぼう！

先生(代表者)	権藤 崇裕(ごんどう たかひろ) フロンティア科学実験総合センター・助教			
自己紹介	学生時代から植物の培養や遺伝子組換えについて研究しています。植物に遺伝子を導入して、それが発現する。それは、簡単そうで実はかなり難しく、神秘的なものです。サイエンスは美しい！楽しい！なるほど！と皆さんに感じてほしいと思います。			
開催日時・ 主な募集対象	平成27年7月18日(土)	(対象)	高校生	(人数) 24名
集合場所・時間	宮崎大学(木花キャンパス)フロンティア科学 実験総合センター遺伝資源分野1階 セミナー会議室		(集合時間)	7月18日 ( 9:30) 7月19日 (10:00)
開催会場 (集合場所)	宮崎大学(木花キャンパス)フロンティア科学実験総合センター遺伝資源分野 住所: 〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地 アクセスマップ: <a href="http://www.miyazaki-u.ac.jp/idensigen/introduction/access.html">http://www.miyazaki-u.ac.jp/idensigen/introduction/access.html</a>			
内 容				
<p>植物の遺伝子組換え技術は、遺伝子の機能を知るための方法であるばかりでなく、世界の食糧問題や環境改善に大きく貢献できる有用な技術です。しかしながら、本技術は社会的に十分理解されておらず、また、受け入れられていません。そこで、本プログラムは遺伝子組換え植物の必要性や安全性について学び、また、実際に遺伝子組換え植物を作成するまでの一連の基本的な操作を体験し、その技術を理解するものであります。</p>				
スケジュール				持 ち 物
<p><b>【1日目】</b>  09:00-09:30 受付(宮崎大学フロンティア科学実験総合センター 1F セミナー室集合)  09:30-09:45 開講式(あいさつ、科研費の説明)  09:45-10:30 講義「遺伝子組換え植物の安全性とその利用について(講師:権藤 助教)」  10:30-10:40 休憩(クッキータイム)  10:40-12:00 本実験の説明とビデオ上映(NHK 教育テレビ 10min.ボックス『遺伝子を見る』)  12:00-13:00 昼食</p>				<p>筆記用具、ノート</p>

13:00-16:00 実習① オワンクラゲ発光遺伝子の導入から遺伝子組換え作物の作成に至るまで	<b>特記事項</b> 本プログラムは遺伝子組換え実験を行うため、文部科学省が制定公布している法律に従った実験内容を行うことを事前に説明し、保護者の同意が得られた上で、参加できることを条件とします。  募集人数が集まり次第、応募を締め切らせて頂きます。
16:00 解散	
<b>【2日目】</b>	
10:00-10:30 「植物の遺伝子組換えについて」の意見交換会	
10:30-12:00 隔離温室およびほ場での遺伝子組換え植物栽培の見学 (途中休憩有り)	
12:00-13:00 昼食	
13:00-15:20 実習② オワンクラゲ発光遺伝子の発現解析	
15:20-15:30 休憩(クッキータイム)	
15:30-16:00 修了式(未来博士号の授与、アンケート記入、記念撮影)	
16:00 解散	

### 《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	宮崎大学フロンティア科学実験総合センター 権藤崇裕(ごんどうたかひろ)
住所：	宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地
TEL 番号：	0985-58-7168
FAX 番号：	0985-58-7761
E-mail：	gondo@cc.miyazaki-u.ac.jp
申込締切日：	平成27年7月14日(火)

### 《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
明石 良 (実施分担者)	H26-28	基盤研究 (C)	26450006	FOX ハンティングシステムを用いたダイズのファンクショナルゲノミクス研究
明石 良 (実施分担者)	H23-25	基盤研究 (C)	23580010	マメ科植物における遺伝子機能獲得型変異体を用いた根の特性に関する遺伝学的解析
権藤 崇裕	H20-21	若手研究 (B)	20780003	ミヤコグサの農業形質に関するQTL とマメ科植物とのシンテニー領域の解明
明石 良 (実施分担者)	H13-15	基盤研究 (C)	13660270	遺伝子工学的手法を用いた牧草への家畜免疫増強因子(サイトカイン)の導入



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。